

呉監公示第2-1号
令和元年9月24日

輸送用エアクッション艇用移送装置、運転装置、洗浄装置の修理（改修を含む）に係る契約希望者募集要項

輸送用エアクッション艇用移送装置、運転装置、洗浄装置の修理（改修を含む）に係る契約希望者は、下記に基づき資料等を提出して下さい。

（公募実施権者）
分任支出負担行為担当官等
海上自衛隊呉地方総監部経理部長

記

1 調達品目等

令和2年度～4年度における、輸送用エアクッション艇用移送装置、運転装置、洗浄装置の修理（改修を含む）に係る契約。

対象品目については、下表のとおり。

番号	対象品目	製造会社
1	「輸送用エアクッション艇用移送装置」修理	住友重機械搬送システム(株)
2	「輸送用エアクッション艇用運転装置」修理	(株)アイ・エヌ・シー・エンジニアリング
3	「輸送用エアクッション艇用洗浄装置」修理	(株)荏原製作所

2 公募に参加できる者の資格

応募できる者は、次に掲げる事項のすべてに該当する者とする。

(1) 予算決算及び会計令（昭和22年勅令第165号）（以下「予決令」という。）

第70条の規定に該当しない者であること。

なお、未成年者、被補佐人又は被補助人であって、契約締結のために必要な同意を得ている者は、同条中、特別の理由がある場合に該当する。

(2) 予決令第71条の規定に該当しない者であること。

(3) 防衛省において指名停止等の措置を受けている期間中の者でないこと。

(4) 経営の状況又は信用度が極度に悪化していないと認められ、適正な契約の履行が確保される者であること。

- (5) 平成31・32・33年度又は令和01・02・03年度競争参加資格（全省庁統一資格）の第1項に関する項目及び中国地域の競争参加資格を有すること又は経営の規模及び経営の状況がそれと同等であること。
- (6) 日本国籍を有し、日本国憲法及びその下に成立した政府を暴力等で破壊することを主張する団体等、その他を結成し又は加入し若しくは協力していないことを証明又は誓約し、若しくは保証できること。
- (7) この役務を効率的、かつ、効果的に実施可能な経験及び知識を有していること。
- (8) 契約履行に当たり、当該装置の製造会社とのライセンス、技術的な連携がとれること。
- (9) 履行後の不具合に関する継続的な対応が可能なこと。
- (10) 契約履行に必要な次の要件に合致する技術者を所要数従事させる能力を有すること。
 - ア 一般管理：安全、工程管理、品質保証、保全に関する能力
 - イ 修理能力：当該装置に不具合が発生した場合の応急修理に関する能力
- (11) 当該事業の一部を下請企業に委託する場合、委託させる業務に応じて、本項第6号から第10号の項目を満たすこと。

3 参加表明書及び技術資料の提出

- (1) 応募する者は、別紙様式に示す「参加表明書」及び次項に掲げる資料（以下「技術資料」という。）を提出しなければならない。また、他の公募実施権者が実施した同種の公募手続きにおける技術審査に合格している場合は、当該合格通知の写し及び合格時の技術資料と変更がない旨の書面をもって代えることができる。
 - ア 審査結果通知書（全省庁統一資格）の写し
 - イ 会社の財政状況・経営成績を証する書類（直近の決算期における有価証券報告書、監査報告書及び会計監査人設置会社にあつては、会計監査報告書並びに内部統制システム整備状況の概要）
 - ウ 同一又は類似案件の過去5年間の受注実績一覧表（実績がない場合は省略できる。）
 - エ 第2項第6号から第10号に示す資格要件を証する書類（第2項第10号に関しては、安全管理・衛生管理体制が明記された資料及び品質管理・工程管理体制が明記された資料）
 - オ 下請企業に業務を一部委託させる場合は、下請（予定）企業一覧
- (2) 提出先
海上自衛隊呉地方総監部経理部契約課審査係
〒737-8554
広島県呉市幸町8番1号
0823-22-5511（内線2254）

(3) 提出期間

令和元年9月24日(火)～令和元年10月24日(木)

なお、新たに体制・設備が整った場合は、募集期間にかかわらず参加表明をすることができる。ただし、希望する調達品目の調達に間に合わないことがある。

(4) 提出方法

直接持参又は郵送とし、直接持参する場合は、土、日及び祝日を除く毎日、午前8時から午後4時45分までとする。

(5) 提出部数

参加表明書2部、技術資料1部

4 技術資料の審査

(1) 技術資料の提出者は、技術審査を行う部隊・機関の担当者から提出資料について説明を求められた場合には協力しなければならない。また、追加資料等の提出を求められた場合には、正当な理由がある場合を除き、必要な資料等を提出しなければならない。

(2) 技術資料の提出者は、技術審査を行う部隊・機関の担当者から検査・修理設備及び体制等の調査のために協力依頼があった場合には、当該工場等への立入を含め、調査に協力しなければならない。

5 応募者に対する審査結果の通知

公募実施権者は、資格審査結果及び技術審査結果を、応募者に対し通知する。

6 疑義の申立

(1) 審査結果に疑義のある者は、契約担当官等に対して、当該疑義の内容について、審査不合格通知書を受理した日の翌日から起算して5日(土、日及び祝日を除く。)以内に書面をもって申し立てることができる。

ア 窓口

参加表明書を提出した部隊等の窓口

イ 時間

直接持参する場合は、土、日及び祝日を除く毎日、午前8時から午後4時45分までとする。

(2) 契約担当官等は、疑義について説明を求められたときは、疑義の申し立ての書面を受理した日の翌日から起算して5日(土、日及び祝日を除く。)以内に説明を求めた者に対して書面により回答する。

(3) 疑義の再申し立てについては、書面による回答を受理した日から3日(土、日及び祝日を除く。)以内に書面をもって申し立てることができ、契約担当官等は、疑義の再申し立ての書面を受理した日の翌日から起算して3日(土、日及び祝日を除く。)以内に説明を求めた者に対して書面により回答する。

7 応募に当たっての留意事項

- (1) 応募者は、応募に当たり、次の各号について同意した上で応募するものとする。
 - ア 提出資料に虚偽の記載をした者の応募は無効とする。
 - イ 正当な理由がなく資料を提出しなかった者、業態調査に協力しなかった又は妨害した者の応募は無効とする。
 - ウ 審査後、資料に虚偽の記載が判明した場合、他の調達要求に係る公募又は入札等を停止することができる。
 - エ 資料等の作成、提出及び説明会への参加並びに業態調査への協力に要する費用は、応募者の負担とする。
 - オ 提出資料は、原則として返却しないものとする。
 - カ 提出資料は、他の目的に使用しない。
 - キ 提出資料の内容に変更が生じた場合は、速やかに変更の届出をしなければならない。
 - ク 当該調達品目については、公示時点で調達を予定しているものであり、今後必ず調達があることを保証するものではない。
- (2) 資料等の提出にあたっては、製本等、過剰な編てつは不要とする。
- (3) 調達品目の仕様に関する問合せを、最寄りの分任支出負担行為担当官に行うことができる。
- (4) 原則、現に指名停止を受けている者の下請負については認めないものとする。ただし、真にやむを得ない事由を該当する省指名停止権者が認めた場合には、この限りではない。

(記入例)

〇〇. 〇〇. 〇〇

海上自衛隊呉地方総監部経理部長 殿

株〇〇〇〇
代表取締役社長 〇〇 〇〇 印



参 加 表 明 書

標記について、下記のとおり応募します。

記

番号	対象品目	製造会社	備考
×	×××××	××××	

- 添付書類： 1 資格審査結果通知書（写し）
2 会社の財政状況・経営成績を証する書類
3 ※以下、必要な技術資料を表記する
4
5
5